



2026年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年9月11日

上場会社名 株式会社オハラ 上場取引所 東
コード番号 5218 URL <https://www.ohara-inc.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 齋藤 弘和
問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 中島 隆 (TEL) 042-772-2101
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年10月期第3四半期の連結業績(2025年11月1日～2026年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年10月期第3四半期	24,230	15.0	1,395	△11.2	1,808	△7.5	1,149	1.7
2025年10月期第3四半期	21,067	1.1	1,571	△5.3	1,955	△1.1	1,130	△3.7

(注) 包括利益 2026年10月期第3四半期 2,866百万円(136.4%) 2025年10月期第3四半期 1,212百万円(△56.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年10月期第3四半期	48.24	—
2025年10月期第3四半期	46.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年10月期第3四半期	68,599	53,891	77.9
2025年10月期	66,884	52,347	77.6

(参考) 自己資本 2026年10月期第3四半期 53,431百万円 2025年10月期 51,932百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年10月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2026年10月期	—	0.00	—	—	—
2026年10月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年10月期の連結業績予想(2025年11月1日～2026年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	33,700	16.6	2,100	17.0	2,500	9.2	1,600	△7.6

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年10月期 3 Q	25,450,000株	2025年10月期	25,450,000株
2026年10月期 3 Q	1,715,568株	2025年10月期	1,085,568株
2026年10月期 3 Q	23,840,586株	2025年10月期 3 Q	24,364,432株

(注) 期末自己株式数には、「株式給付信託（ＢＢＴ）」に係る信託財産として「株式会社日本カストディ銀行（信託Ｅ口）」が保有する当社株式（2026年10月期 3 Q 144,900株、2025年10月期 144,900株）が含まれております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(会計方針の変更に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、一部地域で成長の鈍化が見られたものの、全体として緩やかな回復基調を維持しました。一方、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、中国の不動産市場低迷、米国の政策動向、および中東情勢などを背景に先行きの不透明感が依然として残りました。

当社関連市場では、デジタルカメラ市場においてレンズ交換式ミラーレスカメラおよび交換レンズ、コンパクトデジタルカメラの需要が堅調に推移しました。半導体露光装置市場では、EV市場の減速に伴いパワー半導体の需要回復に遅れが見られるものの、生成AI関連を中心としたメモリおよびロジック半導体の需要増加により、装置需要は堅調に推移しました。FPD露光装置市場では、パネルの需給バランスの改善を背景に、装置需要に緩やかな回復が見られました。また、データセンター関連製品市場では、米国を中心とした活発な投資を背景に、高速大容量通信に必要な低誘電ガラスおよび光通信機器向け製品への需要が拡大しました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の当社業績は、売上高24,230百万円（前年同期比15.0%増）、営業利益1,395百万円（同11.2%減）、経常利益1,808百万円（同7.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,149百万円（同1.7%増）となりました。

売上高は、光事業が13,123百万円（同18.4%増）、エレクトロニクス事業が11,106百万円（同11.3%増）となったことから24,230百万円（同15.0%増）となりました。

営業利益は、売上総利益が6,633百万円（同0.9%増）、販売費及び一般管理費が5,237百万円（同4.7%増）となったことから1,395百万円（同11.2%減）となりました。

売上総利益は、光事業においてデジタルカメラ向けの高単価な川下製品の販売増加や適正利益の確保に向けた価格改定を実施したことから6,633百万円（同0.9%増）となりました。

販売費及び一般管理費は、人件費が増加したことなどから5,237百万円（同4.7%増）となりました。

経常利益は、営業利益が減少したものの、持分法による投資利益の計上により1,808百万円（同7.5%減）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益として固定資産売却益97百万円を計上したことなどから1,149百万円（同1.7%増）となりました。

なお、期中平均の為替レートは、米ドルが158.23円（前年同期は149.43円となり8.8円の円安）、ユーロが183.93円（前年同期は163.38円となり20.55円の円安）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 光事業

当事業の売上高は、13,123百万円（前年同期比18.4%増）、営業損失は178百万円（前年同期は415百万円の営業損失）となりました。売上高の内訳は、光学プレス品10,565百万円（前年同期比16.7%増）、光学ブロック品2,557百万円（同25.8%増）となりました。光学プレス品および光学ブロック品は、デジタルカメラ市場の堅調な需要を背景に販売が増加しました。特に光学プレス品に関してはデジタルカメラ向けの高単価な川下製品の販売が拡大しました。利益面では、原材料費高騰、レアアース調達リスク対応、および中国における増値税還付廃止などが収益を押し下げたものの、川下製品の販売増加や適正利益の確保に向けた価格改定を実施したことから収益性が改善しました。これらの結果により、光事業は前年同期比で増収、営業損失は縮小しました。

② エレクトロニクス事業

当事業の売上高は、11,106百万円（前年同期比11.3%増）、営業利益は1,574百万円（同20.8%減）となりました。売上高の内訳は、特殊ガラス7,117百万円（同18.6%増）、石英ガラス3,989百万円（同0.1%増）となりました。特殊ガラスは、上期における半導体露光装置向け製品の在庫調整が影響したものの、AIサーバー向けプリント基板へ使用される低誘電ガラスに加えて、光通信機器向け製品の販売が増加しました。石英ガラスは、FPD露光装置向け製品の需要が減少したものの、半導体露光装置向け製品の需要が増加したことから販売が増加しました。利益面では、半導体露光装置向け製品の在庫調整の影響が大きく、製品ミックスが変化しました。これらの結果により、エレクトロニクス事業は前年同期比で増収、減益となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は68,599百万円（前連結会計年度末比2.6%増）となり、前連結会計年度末と比べ1,714百万円の増加となりました。資産の内訳ですが、流動資産は、現金及び預金が837百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末と比べ469百万円増加し40,729百万円（同1.2%増）となりました。固定資産は、投資有価証券が787百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末と比べ1,245百万円増加し27,870百万円（同4.7%増）となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は14,708百万円（前連結会計年度末比1.2%増）となり、前連結会計年度末に比べ170百万円の増加となりました。負債の内訳ですが、流動負債は、賞与引当金が342百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比べ247百万円減少し9,730百万円（同2.5%減）となりました。固定負債は、長期借入金が272百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末と比べ417百万円増加し4,977百万円（同9.2%増）となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は53,891百万円（前連結会計年度末比2.9%増）となり、前連結会計年度末に比べ1,544百万円の増加となりました。これは為替換算調整勘定が1,195百万円増加したことなどが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期の業績及び足元の状況を踏まえ、2026年6月12日に公表した2026年10月期通期連結業績予想を下記の通り修正いたします。

売上高は、光事業においてデジタルカメラ向けの高単価な川下製品および光学機器の需要が想定を上回って推移していることに加えて、エレクトロニクス事業において半導体露光装置向け製品の需要回復が進展していること、およびデータセンター投資拡大を背景として高速大容量通信に必要な光通信機器向け製品の需要が増加していることから、前回予想を上回る見込みとなりました。

利益面では、光事業において高単価な川下製品の販売増加や価格改定効果の浸透により収益性の改善が進むものの、製品に対する顧客要求事項の変化を踏まえ、第4四半期において棚卸資産整理に伴う一時的な費用の発生が見込まれます。一方、エレクトロニクス事業においては増収効果に加え、製品ミックスの改善により収益性が向上する見込みであることから、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を上回る見込みとなりました。

2026年10月期通期連結業績予想数値（2025年11月1日～2026年10月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 31,900	百万円 1,800	百万円 2,200	百万円 1,400	円銭 58.79
今回修正予想（B）	33,700	2,100	2,500	1,600	67.19
増減（B－A）	1,800	300	300	200	－
増減率（％）	5.6	16.7	13.6	14.3	－
（ご参考）前期実績 （2025年10月期通期）	28,895	1,794	2,289	1,730	71.04

（ご参考）2026年10月期セグメント別業績予想数値

2026年10月期通期連結業績予想数値（2025年11月1日～2026年10月31日）

	光事業		エレクトロニクス事業	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
前回発表予想（A）	百万円 16,900	百万円 △400	百万円 15,000	百万円 2,200
今回修正予想（B）	17,800	△500	15,900	2,600
増減（B－A）	900	△100	900	400
増減率（％）	5.3	－	6.0	18.2
（ご参考）前期実績 （2025年10月期通期）	15,310	△799	13,585	2,593

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,361,720	15,199,554
受取手形及び売掛金	7,607,463	8,198,939
電子記録債権	1,335,936	1,449,554
有価証券	99,280	299,050
商品及び製品	3,370,214	3,230,886
仕掛品	8,321,727	7,842,919
原材料及び貯蔵品	4,314,952	3,804,756
その他	874,369	809,144
貸倒引当金	△25,834	△105,293
流動資産合計	40,259,830	40,729,512
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,346,199	16,624,994
減価償却累計額	△11,644,907	△11,939,265
建物及び構築物（純額）	4,701,292	4,685,728
機械装置及び運搬具	19,801,695	20,659,818
減価償却累計額	△17,032,118	△17,560,412
機械装置及び運搬具（純額）	2,769,577	3,099,405
工具、器具及び備品	13,174,317	13,354,386
減価償却累計額	△3,695,111	△3,984,765
工具、器具及び備品（純額）	9,479,206	9,369,621
土地	353,050	361,459
使用権資産	499,679	489,453
減価償却累計額	△233,064	△222,598
使用権資産（純額）	266,615	266,855
建設仮勘定	528,575	617,692
有形固定資産合計	18,098,316	18,400,763
無形固定資産	140,895	152,071
投資その他の資産		
投資有価証券	7,259,598	8,047,278
退職給付に係る資産	832,728	979,948
繰延税金資産	196,471	195,700
その他	97,151	94,666
投資その他の資産合計	8,385,950	9,317,594
固定資産合計	26,625,162	27,870,428
資産合計	66,884,993	68,599,941

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,536,233	1,461,590
電子記録債務	577,208	545,354
短期借入金	4,199,804	4,661,552
リース債務	204,229	168,256
未払法人税等	261,676	271,095
契約負債	61,264	41,145
賞与引当金	877,216	535,053
役員賞与引当金	108,896	147,814
事業構造改善引当金	20,681	—
未払金	1,457,282	1,302,734
その他	673,413	596,253
流動負債合計	9,977,907	9,730,850
固定負債		
長期借入金	853,573	1,126,083
リース債務	342,001	278,034
繰延税金負債	2,298,578	2,454,007
退職給付に係る負債	744,477	782,233
役員株式給付引当金	133,281	147,107
資産除去債務	85,029	85,029
その他	102,746	105,181
固定負債合計	4,559,689	4,977,677
負債合計	14,537,597	14,708,527
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,855,000	5,855,000
資本剰余金	7,955,040	7,955,040
利益剰余金	29,893,225	30,430,444
自己株式	△1,470,035	△2,147,285
株主資本合計	42,233,230	42,093,199
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,387,408	2,791,934
為替換算調整勘定	7,148,938	8,344,281
退職給付に係る調整累計額	162,477	201,953
その他の包括利益累計額合計	9,698,824	11,338,169
非支配株主持分	415,341	460,044
純資産合計	52,347,396	53,891,413
負債純資産合計	66,884,993	68,599,941

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年7月31日)
売上高	21,067,523	24,230,273
売上原価	14,492,713	17,596,595
売上総利益	6,574,810	6,633,678
販売費及び一般管理費	5,003,108	5,237,703
営業利益	1,571,701	1,395,974
営業外収益		
受取利息	106,620	111,802
受取配当金	71,103	69,106
為替差益	71,659	65,332
持分法による投資利益	85,726	147,694
その他	98,480	87,817
営業外収益合計	433,591	481,754
営業外費用		
支払利息	41,973	57,802
固定資産除却損	1,903	10,158
その他	5,780	1,640
営業外費用合計	49,657	69,601
経常利益	1,955,636	1,808,127
特別利益		
固定資産売却益	—	97,063
特別利益合計	—	97,063
税金等調整前四半期純利益	1,955,636	1,905,190
法人税等合計	740,140	677,653
四半期純利益	1,215,495	1,227,537
非支配株主に帰属する四半期純利益	84,780	77,585
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,130,715	1,149,952

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年7月31日)
四半期純利益	1,215,495	1,227,537
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,753	404,525
為替換算調整勘定	△7,686	838,738
退職給付に係る調整額	50,114	39,476
持分法適用会社に対する持分相当額	△33,284	356,603
その他の包括利益合計	△2,609	1,639,344
四半期包括利益	1,212,885	2,866,882
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,128,105	2,789,297
非支配株主に係る四半期包括利益	84,780	77,585

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	光事業	エレクトロニクス 事業	計	
売上高				
光学プレス品	9,050,706	—	9,050,706	9,050,706
光学ブロック品	2,033,152	—	2,033,152	2,033,152
特殊ガラス	—	5,999,662	5,999,662	5,999,662
石英ガラス	—	3,984,001	3,984,001	3,984,001
(1) 顧客との契約から生じる 収益	11,083,859	9,983,664	21,067,523	21,067,523
(2) その他収益	—	—	—	—
(3) 外部顧客に対する売上高	11,083,859	9,983,664	21,067,523	21,067,523
(4) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—
計	11,083,859	9,983,664	21,067,523	21,067,523
セグメント利益又は損失(△)	△415,485	1,987,187	1,571,701	1,571,701

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年11月1日 至 2026年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	光事業	エレクトロニクス 事業	計	
売上高				
光学プレス品	10,565,747	—	10,565,747	10,565,747
光学ブロック品	2,557,613	—	2,557,613	2,557,613
特殊ガラス	—	7,117,456	7,117,456	7,117,456
石英ガラス	—	3,989,455	3,989,455	3,989,455
(1) 顧客との契約から生じる 収益	13,123,361	11,106,912	24,230,273	24,230,273
(2) その他収益	—	—	—	—
(3) 外部顧客に対する売上高	13,123,361	11,106,912	24,230,273	24,230,273
(4) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—
計	13,123,361	11,106,912	24,230,273	24,230,273
セグメント利益又は損失(△)	△178,332	1,574,306	1,395,974	1,395,974

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年12月11日開催の取締役会決議に基づき、自己株式630,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が677,250千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が2,147,285千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年7月31日)
減価償却費	1,030,063千円	1,143,363千円